

釜石、宮古で親孝行

私たちが結婚した頃は、双方の両親共健在だった。私達に子供が授かったのは、結婚して二年後の夏だ。その年南方出漁の前、休暇で生家に帰り、私の母親と妻を連れ釜石に戻った。

昭和二十九年四月、釜石では船員会館に泊まり、宮古では旅館に泊まった。約一週間親孝行らしき事ができた。私は出港準備で母の世話が出来ないが、妻は大きい腹を抱えて見物させてくれた。私も時々付き合ひ、写真を多く撮った。

陸中国立公園内浄土ヶ浜、浄土ヶ浜と港が見える高台、港であさひ丸を背景に写した写真、世話になった三和製作所の皆さんと写した写真、あさひ丸船上の二人、砂浜で遊ぶ嫁姑、船員会館で写した四人（？）魚市場にて、など母を偲ぶ写真が多く残っている。

宮古から、南方に出港する日、母は祝い酒を飲み、数十人の見送り人に混じり、テープの端を持ち、手を振って送ってくれた、着物姿の母と妻を五十年過ぎた今でも思い出すことができる。

平成十五年七月三日

